



広報たはら

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

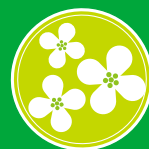
2014
平成26年

6.15

懐かしき原風景に
心、潤う！

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーター紹介	
今月の花「レイコのコレイいね」	
地域の話	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	
学校生活の一コマを紹介	6
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
お知らせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーター紹介……………2ページ
- 被災地を支援・レイコのコレいね……………3ページ
- 地域の話（亀山校区）……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ



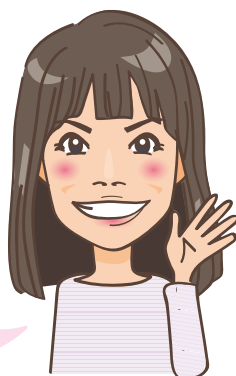
はじめまして！ 平成26年度広報サポーターです。

田原市が募集した広報サポーターに、私たち5名が選ばれました。これから広報紙作成やケーブルテレビ市政番組、ブログやツイッターなどにかかわっていきますので、どうぞよろしくお願いします。身近な話題や、ためになる情報など、市民の皆さんにお届けしていきます。皆さんの地域にも取材に伺うかもしれませんので、ご協力をお願いします。



太田 俊一
(田原童浦校区)

農業の合間に、農業・観光・工業などいろいろな面取材し、田原市の魅力を市民記者として発信していきます。老人パワーでがんばります。



大久保 ゆり
(田原中部校区)

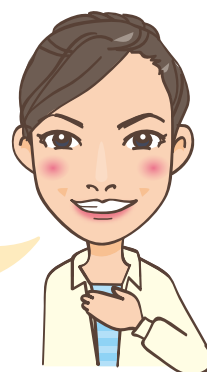
2年目も、市民記者として、田原駅前周辺の様子や普段あまり知られていない隠れた情報を発掘して、皆さんにお届けします。取材などで見かけたら気軽に声をかけてくださいね。



近藤 洋介
(田原東部校区)

市民記者、ナビゲーターとして、皆さんに田原市の魅力をお届けします。大好きなサーフィンを通じて、田原市の自然のすばらしさをお伝えできればと思います。

ケーブルテレビ市政番組「街角ネットたはら」のナビゲーターとして、皆さんへ田原市の情報をお伝えします。今年度は、いろいろなイベントへ取材に出かけたいと思っています。



片桐 純子
(田原中部校区)

広報サポーターとして3年目になります。田原市のイベントや身近な話題など、ブログとツイッターを中心に幅広く活動していきます。

この活動が好きなので、楽しんでやっていきたいです。



浪崎 季代美
(高松校区)

◆田原市広報サポーターの部屋

- 田原市ホームページ
<http://www.city.tahara.aichi.jp/>
- ブログアドレス
<http://kohotahara.dosugoi.net/>
- ツイッターアドレス
<http://twitter.com/#!/kohoTahara>
- 広報秘書課 ☎22局0138



手筒でつながる復興支援!

投稿 手筒花火で復興支援募金

田原の手筒を被災地へ

震

源地に一番近く、津波が一番早く来たといわれる宮城県石巻市牡鹿半島。破滅的被害を受け、都市部から離れているため復興が遅れています。

しかし、そこには、今でも素晴らしい景色があり、すべてを失っても強く生きる人々がいます。

南海トラフ地震が懸念される中、牡鹿半島と渥美半島は、同じ半島としてひと事ではありません。何か復興支援はできないか、被災者の人々の経験を田原市の防災・減災に役立てないかと考え、思いついたのが、震災から3年、やぐらや提灯が流されてしまい開催されなかった盆踊りを復活させることでした。

そして、その盆踊りで全国的にもとてもめずらしい田原の手筒花火をあげ、元気を出してもらいたい、田原市との交流の糸口になつてほしいという願いを込めて、牡鹿さ、いざいざ2014盆踊り



●現在の牡鹿半島の様子

を企画しました。

そこで、田原祭り五町の煙火の有志が、牡鹿半島で手筒花火を行い、手筒花火の勇壮さと心意気で盆踊りを盛り上げます。

◆手筒花火を牡鹿半島へ持つていくための募金を行っています。

●募金団体 手筒花火で復興支援募金

●対象 〓この祭りに賛同いただける法人および個人の方

●期間 〓8月21日(木)まで

●イベント内容 〓やぐら・提灯の提供／盆踊り／手筒花火／飲食出店／子ども太鼓・アーティストライブ／パフォーマンスなど

●目標金額 〓100万円

●その他 〓募金は振り込み・募金箱にて／振り込みの場合は、必要書類を送付します。詳しくは、お問い合わせください。

●問い合わせ 〓手筒花火で復興支援募金(代表 鈴木信二)

☎080-4656-3260

HP <http://mattaira.com/shikabon.html>



今月の花

レイコ・コレイね 1

農政課 ☎23局3517

○「今月の渥美半島の花」が「今月の渥美半島の花と鉢花」に

渥美半島で生産されているたくさんの種類の花をもっと市民のみなさんに知ってもらうため、「今月の渥美半島の花」が今年から「今月の渥美半島の花と鉢花」になり、毎月2種類ずつ全24種類としました。

これからは、三河田原駅や公共施設などで展示を行い、みなさんの目に触れる機会を増やしていきたいと思います。また、「平成26年度 今月の渥美半島の花と鉢花」のポスターを製作し、公共施設などに掲示を行いPRを図ります。ここで紹介する花は全て渥美半島で生産・出荷されています。こんなにたくさんの種類の花が生産されているなんてすごいと思いませんか。どんな花を贈ればいいのか、迷ったら「今月の渥美半島の花と鉢花」を参考にしてみてください。



6月の 渥美半島の花と鉢花



アルストロメリア
(花／出荷時期:10月～6月)

花ことば
エキゾチック・援助・持続

県内で生産しているのは田原市のみで、約70品種ほど生産されています。



ハイビスカス
(鉢花／出荷時期:4月～6月)

花ことば
常に新しい美

県内1位の生産量で、約49万鉢出荷されています。



▲西ノ浜クリーンアップ活動の様子



▲子どもたちに大人気!!うしのけ山の落ち葉スキー

地域の話題

亀山校区

うるおいあふれる地域づくり

「心やすらぐ 緑ゆたかな 美しい地域 亀山」
地域の自然環境を大事に育てる、亀山校区コミュニティ協議会から
「自然保護活動」についてお便りが届きました。

地域発!

田 原市の西端に位置する亀山校区。伊勢湾に面し広大な農地が広がる自然豊かなところです。地域の自然を守るため、人と人のつながりを大事にしながら環境保全に努めています。

西ノ浜クリーンアップ活動

伊勢湾に面した「西ノ浜海岸」。渥美半島の観光のメッカとなるように「中山校区」「環境ボランティアサークル亀の子隊」と協働し清掃活動を実施しています。

西ノ浜には、伊勢湾・三河湾の海流に乗って多くのごみが海岸に打ち上げられます。ごみを放置すれば「海岸が駄目になってしまう」と危機感を持ち、以前から清掃活動をしていた「環境ボランティアサークル亀の子隊」

の活動に参加する形で始めて、はや7年が経過しました。昨年は校区から80名以上が参加し、440kgのごみを回収することができました。今後もこの活動を続け、地域にとって大切な海岸の保全に努めます。

うしのけ山保全

亀山校区には、地域のシンボルであり住民の憩いの場となっている里山「うしのけ山」があります。冬には、子どもたちが楽しみにしている「落ち葉スキー」が出来るように、地域の有志で結成された「うしのけ山を守る会」が環境保全活動をしています。



3月には小学校を卒業する子どもたちと一緒に、桜や栗の苗を植樹し、この山が子どもたちにとって思い出の山になるように努めています。

また、憩いの場所だけでなく、地域にとっても重要な場所にもなっています。今後、発生が懸念される巨大地震による津波から地域住民が身を守るための一時避難場所となっているため、地域として十分な整備を進める必要があります。

校区の未来に向けて

亀山校区は約340世帯、人口も約1200人と決して大きな校区ではありません。農業後継者不足や少子化などの多くの課題も抱えています。校区住民の連帯感は強く、まとまった地域性もあります。

個性ある地域の資源を大事にしなが、将来像の実現に向けて校区を盛り上げていきたいと思っています。





市民活動を応援するページ



市民活動をサポート

市民協働まちづくり事業補助金

公開審査会を開催しました

本年度、市民活動団体を支援する「田原市市民協働まちづくり事業補助金」に応募のあった提案事業の公開審査会を開催しました。各団体からの熱い思いが込められたプレゼンテーションに対して、「田原市市民協働まちづくり会議」から選出された5名の審査委員が「公益性」「先駆性」などを基準に審査を行いました。審査の結果、採択された事業は以下のとおりです。今後、各団体の事業がスタートします。市民のみなさんが参加できるものもありますので、ぜひ参加してみてください。



▲プレゼンテーションの様子(田原文化会館)

●少額補助は平成27年1月末まで受付

事業費が10万円未満の事業は、平成27年1月末まで随時募集(予算の範囲内)を行っています。手続きは書類審査とヒアリングのみです。ぜひご利用ください。

●補助金採択団体一覧

団体名	事業名	補助要望額
アースデイたはら	アースデイたはら2014	180,000円
女性会議 WIT ウィット	地域がかかえる問題点を考える事業	186,000円
渥美半島の里海を美しくする会	里海ビーチクリーン	200,000円

市民提案

市の事業を受託してみませんか？

「市民提案型委託制度」は、行政が実施すべき性質の市民サービスなどについて、効果的な事業内容を提案した団体と市が委託契約を結ぶものです。市民協働で事業を実施することにより、少ない経費で高い効果を得ることが期待されています。市民活動団体の皆さんの、自由で柔軟な発想での提案をお待ちしています。今回募集するテーマや応募方法は以下のとおりです。



【募集テーマ】①男女共同参画啓発事業(市民提案型委託事業)

〔提案内容〕男女共同参画に関する講演会の企画・開催や啓発パンフレットの企画・作成など

〔事業費〕上限20万円 〔募集期間〕7月18日(金)午後5時まで ※必着

【募集テーマ】②市民活動団体交流会『しみんのひろば』開催事業

〔提案内容〕市全域を対象とした市民活動団体のPR、団体間交流の場となるイベントの企画・開催
交流会は複数回実施可。ただし、『田原市民まつり』(10月26日(日))においては必須

〔事業費〕上限30万円 〔募集期間〕7月1日(火)～8月8日(金)午後5時まで ※必着

●**提案内容** 上記の募集テーマに即した事業で、平成27年2月28日(土)までに完了する事業

●**対象団体** 主に市内で公益活動を行う5人以上で構成された団体

●**応募方法** 市民協働課で配布する提案用紙に必要事項を記入して、直接または郵送で提出。提案用紙は市ホームページからもダウンロード可(<http://www.city.tahara.aichi.jp/>→トップページ右下「市民協働のまちづくり」)
応募団体による担当課への提案説明により審査

●**応募・問い合わせ先** 市民協働課 ☎23局3504 ☎23局0180 ✉kyoudou@city.tahara.aichi.jp

田原市民活動支援センター

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

☎22局1111(内線812) ※開設時間のみ

FAX 23局0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

メールマガジン配信中です！

センターから市民活動に関する新鮮な情報を随時、お届けします。配信ご希望の方は、メール本文に「メール配信希望」とご記入の上、左記センターアドレスへメール送信ください。





スクールリポート

SCHOOL REPORT 69

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「健康教育」と「小山での昼放課」をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

大草小学校「健康教育」

元気いっぱい 笑顔いっぱいの大草っ子

大草小学校は、平成24年度から県の健康教育推進校として、「元気いっぱい 笑顔いっぱいの大草っ子」をテーマに、オリジナルキャラクター『健康戦隊大草レンジャー』と一緒に楽しく健康づくりに取り組んでいます。たくましい体をつくる「大草レッド」、豊かな心を育てる「大草イエロー」、すこやかな生活習慣づくりを目指す「大草ブルー」が、行事や授業で大活躍。大草っ子はレンジャーが大好きです。

1・2年生の絵がいっぱいの健康カレンダーや3・4年生が作った健康かるたで意識を高めたり、5・6年生が作った健康ソングを歌ったりして、健康教育を進めています。

健康教育に取り組んでから、全校児童が出席する「欠席ゼロの日」が24年度は98日、25年度は111日ありました。少しずつ、健康教育の成果が出てきています。



●集会で活躍する健康戦隊大草レンジャー



●欠席ゼロ 100 日目に記念撮影



●小山の岩や木で遊ぶ子どもたち

●小山の展望台からの眺めは最高

若戸小学校「小山での昼放課」

若戸っ子のお気に入り『小山の展望台』

若戸っ子のお気に入りの場所は、学校裏の小山にある展望台です。若戸小学校は教室からも海が見えますが、なんといっても小山の山頂からの眺めは最高です。赤羽根漁港を見下ろし、はるか水平線まで見渡せます。

水曜日は、全校が食堂に集まる「全校給食」の日です。高学年が低学年の世話をして、楽しく会話が弾みます。

給食が終わると、清掃なしの長い昼放課です。子どもたちは一目散に小山に駆け上ります。お気に入りには展望台だけではなく、長いすべり台や、おいしいミカンがなる果樹園もあります。桜の木の下には、ベンチやテーブル、クラブ活動で作ったターザンロープもあります。

4月のある日、6年生が1年生の手を引いて小山の展望台に上りました。絶景を眺めた後で、岩に上ったり、木の幹をまたいだり、あちらこちらで歓声が上がっていました。まるで小さな妖精たちの世界のような賑やかな光景でした。



5月28日(水)

海と山のまち
この絆いつまでも

長野県下伊那郡阿南町(友好都市)の小学

校5年生30名が和地小学校を訪れ、和地堀切・伊良湖小学校の5年生43名と交流しました。和地海岸で、手作りの名刺を交換したり、両市町の混合班で貝殻を集めたりするなど、親睦を深めました。



▲初対面でもすぐに打ち解け、笑顔のをのぞかせる両市町の児童たち

5月11日(日)

おいしいお米
待ってるよ！

田植え体験がサンテパルクたはらで開催さ

れ、17組の親子などが参加しました。今回の苗は「めぐみもち」という品種で、9月中旬には稲刈り体験も予定されています。参加者は、普段あまり体験することのない田んぼの感覚に歓声をあげながら、苗を植えていました。



▲泥だらけもなんのその。楽しみながら苗を植える参加者

5月25日(日)

地域の安全
お任せください！

山林火災訓練が衣笠山と泉福寺周辺で実

施され、田原市消防団10分団約500名が参加しました。各分団の連携強化を図る訓練で、消防団員たちは、本番さながらに部隊展開や中継放水訓練などを機敏な動きで行いました。



▲中継放水訓練に取り組む消防団員たち

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

みんなで取り組む節電

●今回は、昨年度に市内で行われた節電の取り組みの中から、**エコでニコニコ大作戦**をご紹介します。

ニコニコ大作戦

「エコでニコニコ大作戦」とは、平成23年に発生した東日本大震災によって全国的な電力不足となったため、田原市でも各学校で節電に取り組み、使用電力を削減しようという活動です。

これを応援するために、削減できた電気料金を各学校からの希望物品（教育用品、運動用品、図書など）の購入代にあって、市から還元しました。（比較基準年度は、東日本大震災発生前の平成22年度）

平成25年4月～平成26年1月、市内の全小中学校で、児童・生徒や教職員が協力して節電の取り組みを行い、全学校での削減電力量の合計は、16万953kWhでした。

平成22年度の同時期と比較して約8%の電気使用量の削減となり、各学校に総額33万7千円分の物品が還元されました。

主な還元物品

ホワイトボード・タンバリン・ドッジボール・ハードル・児童用一輪車



▲還元物品としてもらった一輪車に乗る和地小学校児童

エコでニコニコ大作戦は、平成25年度で終了しましたが、各学校での節電の取り組みは、今後も継続的に実施されます。

皆さんも、学校・職場・家庭などで節電に取り組みましょう。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2576人・事業所99カ所（5月末現在）

▼環境政策課

☎23局7401 FAX23局0180

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん 23



田原市では、平成25年度からエコキャップ運動を実施しています。今回は、エコキャップの回収実績などについてご紹介します。

◆エコキャップ運動とは

ペットボトルのキャップを集めて業者に売却し、その集益金を「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付します。売却されたキャップは、文房具や生活用品などにリサイクルされます。

【回収場所】

市役所／赤羽根市民センター／渥美支所／東部資源化センター／赤羽根環境センター／渥美資源化センター／各市民館

◆出し方の注意

●キャップは水で洗って、乾かしてから出してください。

●キャンペーンシールや値札は、はがし

◎平成25年度実績

回収量	ワクチン量	二酸化炭素削減量
840kg (キャップ約36万個分)	420人分	2,650kg

てください。

●回収するものは飲料用ペットボトルのキャップのみです。金属製のキャップやびんのふたは回収しません。

◆回収できないキャップの例



回収できないキャップが混ざっていると、再度分別が必要になったり、業者から引き取りを断られたりすることがあります。皆さんのご協力をお願いします。

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180

景観ってなあに？

vol.1

▶街づくり推進課 ☎23局3523

この連載は、皆さんに「景観とは何か」「なぜ景観を守らなければならないのか」を知ってもらうために始めました。田原市の景観をどのようにしていったらよいか一緒に考えていきましょう。

●景観を考える

景観の「景」とは景色や眺めなどのことをいい、「観」は目に映った印象をいいます。この2つの文字の意味から、「景観」は「風景」や「景色」と同じような意味で使われています。

●感じ方は人それぞれ



これらは、市のいろいろなパンフレットに使われている写真です。皆さんが好きな田原市の景観は他にもあると思います。ある人はこの景観が素晴らしいと思っても、

別の人は思わないかもしれません。美しい景観の感じ方は人それぞれ違うことが、景観の難しさなのです。

●個性豊かな景観

渥美半島は、三河湾や太平洋などの海に囲まれ、半島の中央部には蔵王山や大山などの山が連なっています。山の裾野には、広大な農地が広がり、特色のある市街地や集落が点在しています。そのどこもが地域の個性を表す景観です。

皆さんが美しいと思う景観をどのようにしたら守っていくことができるのでしょうか。

今後、この連載を通じて、景観を見つめなおし、この素晴らしい田原市の景観を将来の世代に引き継いでいきましょう。



土砂が集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象を指します。スピードの速い、破壊力の大きな土砂が、短い時間で広範囲に大きな被害をもたらします。

◆土砂崩れ

がけ崩れとは、地面にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が、山の斜面や崖から突然崩れ落ちる現象を指します。長雨の後に発生しやすくなります。一瞬のうちに崩れ落ちるので、逃げ遅れなどで被害が大きくなります。

◆がけ崩れ

今回は、台風や集中豪雨などの大雨が引き起こす災害の中から、いくつかをご紹介します。

今回は、台風や集中豪雨などの大雨が引き起こす災害の中から、いくつかをご紹介します。

しろちゃん

防災知恵袋

3



みんなで取り組む防災・減災

大雨がもたらす災害

◆洪水

洪水とは、大雨などにより、堤防の決壊や河川の水が堤防を越えたりすることによって、陸地が水没したり水浸しになったりする現象を指します。氾濫した水の量によっては住宅への浸水の恐れもあります。

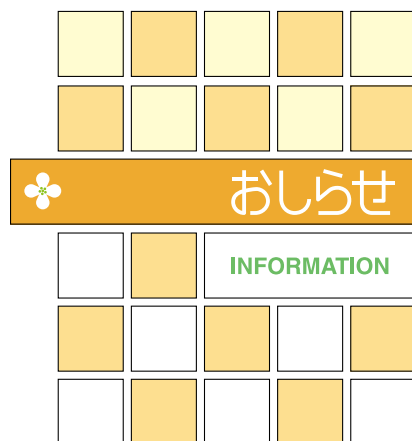
◆自分たちができること

突然起きる地震とは違い、大雨や台風は、正確な情報を得ることで被害を最小限にとどめることができます。テレビやラジオなどから情報を入手し、気象情報に気を配りましょう。



水による災害の被害は、地形と深い関係があるため、過去の被害情報が参考になります。昔から住んでいる人などから過去にどのような被害があったのかを聞いて、対策のヒントにしましょう。

▼防災対策課 ☎23局3548



募集

WANTED

第7回男女共同参画フェスティバル参加団体

男女がお互いを尊重し、自分らしく輝けるまちを目指し、男女共同参画フェスティバルを開催します。市民活動団体、ボランティア団体などの皆さん、このイベントで自分らしい活動を発表してみませんか。

◆フェスティバル概要

- 主催 田原市男女共同参画推進懇話会
- 開催日 8月24日(日)
- 場所 田原文化会館

▼応募資格 男女共同参画社会の推進に関する活動など自分らしく活動を行う団体・個人 ▼参加内容 パネル展示・バザー・ワークショップ・ステージ発表など ▼申し込み 7月7日(月)までに市民協働課にある申込書(申込書は市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入のうえFAXまたはEメール・郵送にて ▼その他 事前打合せ会議あり

▼市民協働課

(〒441-3492 住所不要)

☎ 23局3504 FAX 23局0180

✉ kyoudou@city.taharaichijp

消防設備士試験

▼対象 一般 ▼試験日 8月17日(日) ▼場所 名古屋工学院専門学校 ▼種類 甲種特類を含む甲種全類・乙種全類 ▼申し込み 書面申請 7月14日(月)～24日(木)の期間に消防課窓口または消防署・各分署にある受験願書に必要事項を記入のうえ郵送【電子申請】7月11日(金)午前9時～21日(月)午後5時の期間に財団法人消防試験研究センターホームページ(<http://www.shoubo-shiken.or.jp/>)にて

▼消防課
☎ 23局4074 FAX 23局0180

安藤忠雄氏特別講演会 地方都市の生き残りをかけて



世界的な建築家として知られる安藤忠雄氏による講演会です。三河田原駅の新駅舎は安藤忠雄建築研究所が設計しました。

▼日時 7月27日(日)午後1時～2時30分 ▼場所 田原市総合体育館アリーナ ▼定員 1000名(先着順) ▼参加料 無料 ▼申し込み 7月18日(金)までに申込書(市ホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入のうえFAXまたはEメールにて/任意の様式の場合、郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢・職業を明記のうえ、FAXまたはEメール・はがきにて ▼その他 講演会の前後に著書の販売およびサイン会を開催/託児サービス有(先着10名)

▼街づくり推進課

☎ 23局3535 FAX 22局3811

✉ machi@city.taharaichijp

HP <http://www.city.taharaichijp/>

伊良湖休暇村公園 愛称

愛知県では、伊良湖休暇村公園において、全国初となる砂丘とオアシスの再生を行い、自然の復元を目指した公園整備を進めています。新しく生まれ変わる公園が人々に親しまれるよう愛称を広く募集します。

▼募集期間 7月31日(木)まで

▼賞品 採用者1名に3万円分の図書カードおよび記念品を贈呈/抽選で1000名に500円分の図書カードを贈呈 ▼応募方法 愛称名、その説明などの必要事項を記入して、FAXまたはEメール・応募箱にて ▼応募箱設置場所 愛知県環境部自然環境課/愛知県東三河総局/市役所/休暇村伊良湖

※詳しくは県ホームページ(<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/sizen-ka/index.html>)をご覧ください。

▼愛知県環境部自然環境課

☎ (052)954局6227

FAX (052)963局3526

✉ shizen@pref.aichi.jp

吉胡貝塚資料館 夏の体験講座 編布コースターを作ろう

▼対象Ⅱどなたでも（小学校3年生以下は保護者同伴） ▼日時Ⅱ7月20日（日）午後1時～4時 ▼定員Ⅱ20名（先着順） ▼参加料Ⅱ300円 ▼申し込みⅡ電話またはFAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は、講座名・住所・氏名・電話番号を明記）

▼吉胡貝塚資料館

☎22局8060 FAX22局8070

✉yoshingo@city.tahara-aiichi.jp

夏休み家族で学ぼう！ いのちの教室 参加者

親子ウォーターレスキュー教室

悲しい水の事故からいのちを守ることを親子で学ぶ教室です。

▼対象Ⅱ市在住の小学生と保護者 ▼日時Ⅱ7月19日（土）午後1時～3時 ▼場所Ⅱ白谷海浜公園

▼定員Ⅱ10組（先着順） ▼その他

Ⅱ服装や準備品は参加者に別途連絡

家族ファーストレスポnder教室

ファーストレスポnderとは、事故や災害が発生した時に、最初に対応する人のことです。家族でいのちを守ることを学ぶ教室です。

▼対象Ⅱ市在住の小中学生と保護者 ▼日時Ⅱ7月27日（日）午前9時30分～11時30分 ▼場所Ⅱ田原市消防署 ▼定員Ⅱ40名程度（先着順）

【共通事項】▼参加費Ⅱ無料 ▼申し込みⅡ消防署に直接または電話・FAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は、住所・氏名・生年月日・性別・電話番号・在学の方は学年・学校名を明記）

▼消防署

☎23局4075 FAX23局2440

✉syoubous@city.tahara-aiichi.jp

伊勢湾フェリーで観る 蒲郡花火クルーズ

豊橋みなとフェスティバルで、三河港重要港湾指定50周年記念・蒲郡花火大会観覧クルーズを実施します。

▼日時Ⅱ7月20日（日）【出港】午後6時【帰港】9時45分ごろ ▼発着場所Ⅱ豊橋市神野東埠頭3号岸壁

▼定員Ⅱ450名（要事前予約／先着順） ▼参加料Ⅱ【一般席】中学

生以上4800円・小学生3800円・小学生未満1300円 ▼弁当Ⅱ

持参もしくは、事前予約1000円

Ⅱ申し込みⅡ電話にて【予約代行】ユニオン航空サービス（株）

☎（0532）53局3030

▼豊橋みなとフェスティバル実行委員会（豊橋商工会議所内） ☎（0532）53局7211

http://www.toyohashi-ci.or.jp/event/minatofo/index.html

（仮称）田原市街地まちづくり 市民会議 メンバー

市街地が市民の皆さんにとって魅力ある場所になるように、市民と行政が共有できる（仮称）田原市街地まちづくりビジョンなどの計画策定を予定しています。田原市の将来のために、皆さんのご意見をお聞かせください。

▼対象Ⅱ市内在住・在勤・在学で20歳～50歳未満の方 ▼活動期間Ⅱ7月～計画策定 ▼定員Ⅱ5名程度

▼応募方法Ⅱ7月15日（火）までに、電話またはFAX・Eメール（住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業を明記） ▼その他Ⅱ無報酬のボラ

七夕企画「星に願いを」

まちなか賑わいづくり実行委員会では、日本の伝統的な風習である“七夕”を、親子で体験してもらうイベントを開催します。

▶日時＝7月5日 午前10時30分～11時30分

▶場所＝駅前広場（雨天の場合はセントファール）

▶その他＝願い事を書いた短冊を、笹に飾ります。なお、願い事を書いた短冊を持ってきた高校生以下の方には、お菓子をプレゼントします。

▶（株）あつまるタウン田原 ☎24局2345

http://www.tahara-tmo.com/

▶街づくり推進課 ☎23局3535

※市委託事業



生活

LIFE

夏の交通安全県民運動 7月11日（金）～20日（日）

重点実施項目

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 歩行者・自転車の交通事故防止
- すべての座席でシートベルトとチャイルドシートの正しい着用
- 飲酒運転の根絶
- 交差点事故の防止
- 市民協働課

☎23局3504 FAX23局0180

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club



文化生涯学習課 ☎ 23局3635
FAX 22局3811

書物のおかげ

『田原の文化財ガイドⅡ ふるさとの偉人を訪ねる―田原を築いた人びと』（平成23年3月発行）にて、19人の人物を紹介しました。また、平成13年から始まったこの『田原歴史探訪クラブ』でもたくさんの方に書いて書いてきました。

私が渡辺崋山先生のことを初めて知ったのは、小学4年生の時にもらった『少年物語 渡邊崋山』という本からでした。「学ぶ」ということは、小学校に入る前からでも可能



▲現在も(公財)崋山会が小学生に配布している「少年物語 渡邊崋山」

ですが、読書の習慣や歴史上の人物に興味を持つのは、小学生くらいからでしょう。皆さんが自分自身で、本を読み始めたのはいつごろからか覚えていてでしょうか。

「ふるさとを学ぶ」ために大人の方なら博物館や図書館、最近ではパソコンやスマートフォンを利用する、そんな方も多くいると思います。

田原中部小学校で、現在でも学期ごとに発行される

『家庭と学校』という機関紙があります。田原藩の藩校だった成章館跡に建つ田原尋常高等小学校の教育奨励会が110年前の明治37年（1904年）11月3日に第1号を発行しました。こ



▲明治37年から始まる「家庭と学校」合本（田原市博物館蔵）

の年は、日露戦争開戦の年で、当初は、書名にあるように児童・保護者・学校が一体になり、学校のできごとをお知らせし、教科書以外の「読み物を与え」と書かれています。子ども向けの本もあまり無い時代に、2号から「アリババと四十の盗賊」を翻訳して連載しています。286号からは「田原史蹟物語」と題し、39話にわたり、吉胡貝塚から年代順に郷土史の紹介が連載されました。毎号保存していけば、田原の歴史が学習できます。

戦前・戦後にもシリーズ化され、「郷土物語」

「子供のための郷土史蹟物語」などがあります。明治41年から、当時では珍しい写真も使用され、町の様子も知ることのできる貴重な記録です。田原市中央図書館でもバックナンバーがご覧になれます。

読書を通してたくさんの方の情報や知識を得ることができます。月刊誌やパンフレットのような印刷物でも長く続くことで歴史を調べる大事なツールになることがあります。古い本や地元のことが載っているものを読んで新しい発見にたどりつくこともできます。図書館で探してみるとおもしろそうな本に出会うこともできますよ。

（鈴木利）

今月の「表紙」

▼地域に残る貴重な棚田を守るうと、童浦校区白谷区の有志で結成した『棚田まもる会』。幅広い世代で行う活動は、今では棚田を中心とした地域づくりに発展しているそうです。古きよき時代を懐かしむ気持ちが強くなってきたと感じるのは、赤く染まる空と棚田で郷愁にかられたせいなのか、年齢のせいなのか。（M）

【表紙の写真】白谷区（童浦校区）の棚田に映る夕焼け